

まとめ

- ARTレジメンは、HIVの生活環の特定の段階を標的として、ウイルスの複製を阻害する。
- ARTは、毒性をもたらす可能性があり、多くの錠剤を服用しなければならないレジメンから、忍容性が高く1錠（または少ない錠数）服用すればよい一次治療レジメンへと進化してきた。
- 米国、WHO、欧州および英国のガイドラインでは、CD4陽性細胞数にかかわらず、すべてのHIV感染者にARTを推奨しており、一次治療のARTとして特定のレジメンを推奨している。
- ARTは患者ごとに個別化するべきであり、患者がいったんウイルス学的抑制を達成したら、毒性および／または好みに応じて変更することができる。
- ARTへのアドヒアランスは、ARTレジメンの有効性を発揮し、ウイルス学的抑制を維持するために極めて重要である。